

令和６年度立川駅帰宅困難者対策訓練について

1. 目 的

大震災が発生し、公共交通機関が停止したことを想定して、駅前に発生する帰宅困難者の対応を実動訓練で行い、対応手順の確認、資器材の確認、関係機関との連携や課題の抽出を目的に実施した。

2. 日 時

令和６年 11 月 25 日（月曜日）午前 9 時 30 分開会式 午前 10 時発災 午前 11 時閉会式

3. 訓練参加者

35 団体 93 名（市職員含む）

4. 場 所

開閉会式及び現地本部：窓口サービスセンター

臨時案内所：北-ジョナサン前、南-コトリンクそば

滞在施設：北-国営昭和記念公園・大原学園、南-アレアレア 2・東京しごとセンター多摩

5. 流 れ

発災後、駅前に帰宅困難者が滞留したため、警察官や公共交通機関の職員が帰宅困難者を南北臨時案内所まで誘導する。

現地本部では、協定締結先に施設の状況及び帰宅困難者の受入の可否を確認し、帰宅困難者の受入先の確保をする。受入施設や各種情報は市の部門から受取り、臨時案内所へ伝達する。

南北臨時案内所では、帰宅困難者の受付を行い、現地本部から受入施設が伝えられたら、帰宅困難者に受付シートを渡し、施設へ移動を促す。

受入施設は、現地本部の要請に応じて、帰宅困難者の受入を行う。

6. 反 省 点

帰宅困難者役が少なく、臨時案内所で受付等の対応ができなかった。

現地本部が狭く、動線が悪い。また、優先的にやる事が何か分からなかった。

帰宅困難者役の待ち時間が長く、寒かった。 など

7. 今後の予定

東京都帰宅困難者支援システム（通称「キタコンDX」）が運用を開始することを踏まえて、実動訓練の中にも取り入れていく。現地本部については、T o D o リストや専用の様式を作成していく。

8. そ の 他

キタコンDX訓練を、令和 7 年 1 月 29 日（水）午前 10 時から 1 時間程度実施する。（市役所内のみ）

令和 7 年 10 月 20 日（月）午前 10 時から、令和 7 年度帰宅困難者対策訓練を実施予定している。令和

7 年度は、キタコンDXと臨時案内所を併用した訓練を実施したい。

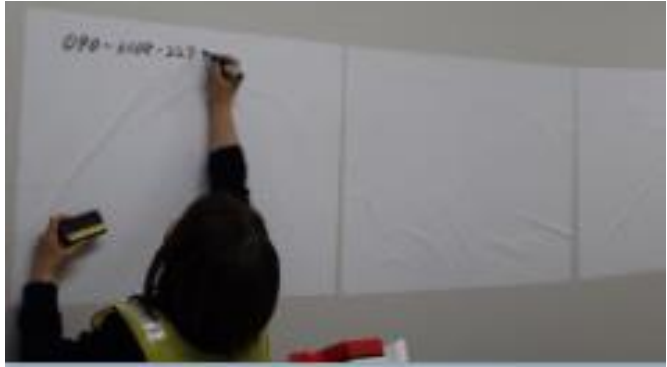
帰宅困難者役を配置することで、実際の状態に近づけることができると思うので、その部分も力を入れていきたい。



座長（JR 立川駅長）ご挨拶



現地本部の様子



現地本部の様子



帰宅困難者シェイクアウト訓練の様子



帰宅困難者シェイクアウト訓練の様子



関係者による帰宅困難者の誘導



臨時案内所の様子



受入施設の様子